

# 新春対談



片岡聡一市長と加藤保博議長が、平成30年の総社市政について語ります。



総社市議会議長  
加藤 保博



総社市長  
片岡 聡一

**市長** 新年明けましておめでとうございます。  
**議長** 今年もよろしくお願ひします。  
**市長** 今年の対談は井山宝福寺です。  
**議長** 総社と言えば雪舟とここ宝福寺です。それに勝るものはありません。

## 総社市議会 新メンバーでスタート

**議長** 昨年9月の改選で4人の新人議員と2期議員で10人の構成になりました。多くのベテラン議員が勇退されたこともあり、市当局と相對するためにより一丸となる必要があります。市長は就任10年を迎えましたが、何か抱負はありますか。  
**市長** 10年経ちましたが、一区切りという考えはありません。常に新しいテーマに挑戦し、未来を見据えた政策を新しく作りだしていくことしか考えません。

です。議員は市民の代弁者ですので、皆さんのご意見を参考に提言し、実現に向け努力することが仕事だと思っています。  
**市長** 一問一答方式になって5年目になります。議場で物事が決まっています。他市に比べても活性化された両者関係だと思います。一問一答といえども原稿がない状態でも質問の間う部分は原稿がない状態ですから、緊張感のある開かれた議会だと思っています。

## 福祉と健康で 市民の生活をサポート

**市長** 市役所の役割は、弱い立場にいる人をいかに助け、ともに歩んでいけるかということが最大のテーマです。障がい者千人雇用を達成して次なる目標に千五百人雇用を掲げていますが、これからは生活の質を上げていくことに全力を尽くしていきたいと思っています。

**議長** 残念なことに、障がい者の大量解雇の問題が世間を騒がせました。

**市長** この問題は、現在の福祉就労の賃金に対する国の補助制度のあり方を考えるべき新たな課題です。障がい者千人雇用を達成した市として、補助制度の見直しを含めて、障がい者のおかれている現状を厚生労働省に強く訴えたいと思います。

**議長** 4月からは、「歩いて獲得！健康商品券」事業もスタートしますね。市の中心部だけでなく、周辺地域の人も参加していただければと思います。

**市長** 市全体の予算の福祉、医療、介護に投入する額が3分の1を超えています。介護や病気になる前の水際で歯止めをかけるという政策が、一番重要なテーマになってきます。なるべく多くの人に参加していただきたいですね。

**議長** 市長はランニングが日課ですが、今年目標

は何キロ走るつもりですか。  
**市長** 今年も1200キロを走ろうかと。結構きつい数字ですけども、私が走ることで健康のことを考えないといけないという風潮を生みだすのであれば、私が走るべきだと思います。議長は健康面で目標がありますか。

**議長** 今すぐぶる健康ですからね。いまだかつて入院したことがないんです。病院で横になったのは点滴のとき、それも4・5回程度です。  
**市長** これを期に、何かやられてみてはいかがですか。

**議長** 議長になり、3カ月が経ちましたが、この1年間は激務を乗り越えるべく、健康にはよく注意して「歩いて獲得！健康商品券」事業にも参加したいと思っています。

**市長** 議長になり、3カ月が経ちましたが、この1年間は激務を乗り越えるべく、健康にはよく注意して「歩いて獲得！健康商品券」事業にも参加したいと思っています。

**市長** 総社のかたちを変える  
グランドデザイン改革  
昨年は日本郵便、ア

マゾンと、新たな企業が続々と立地しました。総社はまだまだ企業誘致に挑戦していきます。

**議長** インターチェンジ周辺は立地が続きました。一方、中山間地域には利用されていない土地が多くあります。製品の出荷を急がなくてもいいような企業に誘致活動をし、積極的に誘致活動をし、成功すれば、その地域は将来的にも伸びていきます。

**市長** 農地法などの関係があるところに、企業誘致の難しさがあります。ただ、それに手をこまねているだけではいけません。農地転用、市街化区域編入、経済産業省の地域未来投資促進法など、国に働きかけて用地を確保し、高梁川以西や北部なども含めて、多くの企業を誘致していくことに汗をかいていきたいと思っています。

**議長** 中山間地域には橋などのインフラが整っていないところがあります。し

かし、いずれ耐用年数もきます。同時に今のままでは住民も少なくなる一方です。地域の存続とインフラを生かすという両面から、やはりその土地に適した企業誘致が特効薬と感じています。

**市長** 県立大学の周辺は、新たな学園都市をつくるために、県・国と調整作業を進めていきます。その延長線上にJRT桃太郎線のLRT化を議論していく、そのスタートの年にしなければいけません。

**議長** LRT化になった場合、それが将来の総社にとってどう有益になるのか、まだイメージが湧かないところもあります。今後の動きをみての議論になりますね。

**市長** 伸び行く総社に2・3両編成のディーゼル車両ということはチェンジしていくべき課題。本数が増え利便性があがれば、大変な起爆剤になっ



ていくと思います。  
**議長** 今は総社小学校と給食調理場も工事が始まっていますね。

**市長** 総社小学校の建て替えて、教育現場の耐震化が100%完了します。子ども主体でいい学校をつくりたいと思っています。給食調理場は、やっ

と一体化して、衛生面、地元食材使用率のアップ、そして何よりおいしさに大きく貢献してくれ